

すまいるNEWS

2022新春号

フクダハウジング株式会社
新潟県新潟市中央区関新3丁目2番4号
フリーダイヤル：0120-974-699

社長メッセージ 「明るい一年に」



あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願いいたします。
さて、年初は明るく「あかり」の話です。
私は若い頃に、将来は照明デザイナーになろうと本気で思った時期があり、当時は半年程ですが真剣に勉強しました（進路変更により挫折）。今回は、そのときに得た知識をもとに書きたいと思います。

きっかけは欧米のホテルです。インテリア雑誌で見る欧米のホテルの室内はとておしゃれなのですが、実際に宿泊してみると、室内照明が暗すぎて、日本人の私には書くこと読むことがとても不自由でした。なぜ、欧米のホテルは、室内も廊下もすべてが暗いのか、私にはこのことが謎でした。知人のイギリス人に聞いてみたところ「薄暗くほのかに表情がわかる程度の明るさが、女性が一番美しくみせるからだ」みたいなことを言われ、そのときは納得したようなしなないような…。

しかし、もっと根本的な理由があるに違いないと思い、調べていくうちに、わが国にも「照明学会」があることを知りました。そこで分かったのは、欧米ホテルが暗いには理由があって、人種の瞳の色と深い関係がありました。青色や茶色の瞳を持つ欧米人は、白色系の強い光に弱く、屋外ではサングラスが必需品なんだそうです。ですから日本人の私たちは、「そんなに暗いところで勉強していたら目が悪くなる」と言われてきましたが、

フランスでは「そんなに明るいところで勉強したら目が悪くなる」と言われることもあるそうです。

私が照明学を学び始めたとき、もっとも衝撃を受けたのが『照明の光を美しく演出するためには暗さの存在が不可欠である』と教わったときでした。確かに、蛍光灯の青白い光が苦手な欧米人は、街並みの夜景にしても、明るさよりも景観を重視し、「照明はインテリアの一部」として捉えています。日本のコンビニのような、深夜にキラキラした灯りの店舗はどこにも見当たりません。

日本の住居は「子供の宿題」「高齢者の新聞読み」などの理由から、リビング全体を蛍光灯で明るくする傾向がありますが、調光機能のあるものや補助灯なども取り入れると、時間帯や使用用途に応じて適切な部屋の明るさに調節することができて便利です。「たまには、部屋のイメージチェンジをしたい」とお考えの方は、ぜひ照明器具の交換をお試ください。

ちなみに、インテリア雑誌を見ていると、欧米の寝室にはそもそも天井に大きな照明器具が見つかりませんが、脳科学的にも、寝る2時間前には薄暗い部屋にいるのが理想的だそうです。もっともベッドの中でスマートフォンを触っているのはNGですが。これからは、省エネの観点からも、場所や時間による「減光」を心掛け、体にもやさしい空間を作っていくことをお勧めします。

代表取締役社長 木津広美

大切なご家族やご友人を、ぜひご紹介ください！

フクダハウジングでは、ご成約・ご紹介特典をご用意しております。ご新築・建替え・リフォームなどの計画をお持ちのお知り合いの方がいらっしゃいましたら、ぜひフクダハウジングをご紹介ください！右QRコードより情報をお送りいただけます。



プレゼントをご用意しました ご成約特典

ご紹介者様には…

新築住宅ご成約で
200,000円プレゼント!
リフォーム住宅ご成約で
最大200,000円プレゼント!
※工事金額に応じて金額が変わります。

ご家族やご親戚、ご友人を ぜひご紹介ください！ ご紹介特典

ご紹介した方・された方

QUOカード
2,000円分プレゼント!
新築・建替えをご計画の方をご紹介くださった方、そしてお知り合いの方にもプレゼントいたします!

NEW FACE

1月に新たに1名の社員を迎え入れました。
管理部総務人事課に配属となりました。今後の活躍に期待です! ①出身 ②趣味 ③一言コメント



とよしま ひな
豊島 日奈

- ①新潟県五泉市
- ②読書・スポーツ観戦
- ③この度管理部総務人事課に配属となりました。豊島と申します。元々は、ショールーム受付担当として入社し、約1年間、お打合せ室での営業マンとお客様

のやり取りを陰で見守らせていただいております。最近、部屋の整理をしていたら大学時代勉強していたシェイクスピアの戯曲が出てきました。過去に一度読んだ作品でも、現在と捉え方や読んだ時の感情がまた違って奥が深い…と思いつつ、休日を過ごしています。物語の中に入り込むとリフレッシュされてとてもおすすめです♪
お客様との直接的なやり取りは少ないかもしれませんが、フロントに立つ社員のサポートが出来るように頑張ります! どうぞよろしくお願いいたします。

事例紹介 北欧インテリアを取り入れたマンションリノベーション

間取りは変更せずに、住宅設備(キッチン・ユニットバス・トイレ)を入替え、内装をリフォームした事例です。内装が変わるだけでもお部屋の印象はずいぶん変わります。ブルーグレーのアクセントカラーを取り入れ、北欧テイストに仕上げました。住宅設備を新しくしたことで、お掃除も楽になり、より快適な生活が送れるようになりました。



◀ Before
築24年の和室を含めた3LDKのお部屋。LDK以外の洋室がカーペット敷きの床で、住宅設備の老朽化が目立っていました。



After ▶
間取りはそのままで、内装をリフォーム。LDKの床は変えていませんが、壁紙や照明を替えたことで、印象が変わりました。和室は、縁なしタイプの畳を採用したことで、お部屋の雰囲気ともマッチしています。

居心地のいいピットリビングのある家

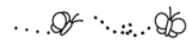
11月に完成見学会を開催させていただいたH様邸。11月中旬にお引渡し式があり、ご家族そろって仲良くテープカットをしていただきました! ディテールにこだわった素敵な住まいが完成しました。H様、ご新築おめでとうございます!



▲Living
ピットリビングを採用したリビング。天井を30cm、床を30cm下げているので、とても開放的。光が差し込む明るいリビングです。



◀ Powder Room
ガス衣類乾燥機「幹太くん」を設置した洗面脱衣室。サンルームをつくったので、動線が短く家事もラクラク。



Kitchen ▶

こだわりのレンガ調タイルを張ったカフェ風キッチン。セパレートタイプのカップボードで収納たっぷり♪カウンター横にはマガジンラックを設けました。



H様邸のお引渡しを
させていただきましたー

わたしの家づくり

- 弊社スタッフの家づくり、いろいろ聞いてみました。 vol.8 -

0歳と2歳の
息子、娘のパパです♪みながわ ゆういち
皆川 雄一

我が家は夫婦+子ども2人の家族構成です。私の実家の畑を移動し、両親と同じ敷地内に新築しました。フクダハウジングの女池上山モデルハウスに夫婦共々惚れ込み、ブラックチェリーの無垢床や大きな洗面所の鏡、配色など参考にした部分がたくさんあります！

打合せの中で、妻と意見が合わず大変に思うこともありましたが、営業担当の竹石さんと設計担当の涌井さんにアドバイスをいただきながら、なんとか理想を伝えきることが出来ました。訪ねてくる友人たちに、フクダハウジングの家は素晴らしい家だと、自信を持って自慢できる家にしていただけたと思います。



LDK

キッチンから子供たちの姿が見渡せるようにしたいという妻の理想を形に。和室は、リビングと馴染むように色味を統一しました。お気に入り、庭へと続く大開口の窓！窓の外はウッドデッキと悩んだ末に、管理のしやすさを考えてタイルを敷きました。夏は子供のプールなどを出して楽しみたいです！

サンルーム

独立した広いサンルームは、絶対に欲しいと思っていました！キッチンからも近く、家事がしやすい動線になっています。また、アイロン台で作業したり洗濯物を畳んだりでき、非常に便利です！



キッチン

調理師免許を持つ妻が、使いやすさにこだわり選んだパナソニックのキッチンです。3口横並びのガスコンロや深型の食洗器など、今住んでいる賃貸のキッチンより断然使い勝手がよくなり、大満足しています！毎日の晩酌がより楽しみとなりました。また、L字型の食器棚にホワイトボードを設置し、子供の学校からの連絡用紙などを貼れるようにしました。

連載コラム「わたしの家づくり」。弊社スタッフが実際に建てた家をご紹介します！今回は、賃貸管理課の皆川宅です。こだわりポイントや実際に暮らしてみても感想など、いろいろ聞いてみました。



外観 あえて色をあまり使わず、グレーの外観でシンプルにしました。窓枠と屋根の黒色がアクセントです。ジョリパットの質感が高級感があって、選んでよかったなと思います。



玄関 子供のベビーカーや濡れたコートなどを収納できるシューズクロークをつくりました。また、仕切り扉もあるので、急な来客時にも便利です。広々とした玄関には大満足です！



インナーバルコニー

コロナ禍に流行ったベランピングに憧れて、2階にインナーバルコニーを設けました。ここでは、DIYで板を敷いたり植物を置いたりして楽しむ予定です。また天気の良い日は、家族で食事をしたりしたいです。

寝室

将来、子どもが増えた時に仕切れるような仕様にしてもらったので、とても広いです。落ち着いた色のアクセントクロスを選び、家族そろって熟睡できる空間にしました。



Enjoy building your house.



フクダハウジング株式会社

〒951-8141 新潟市中央区関新3丁目2番4号

SNSやっています。ぜひご覧ください。
いいね！やフォローお待ちしております。

★HP ★Facebook ★Instagram

0120-974-699

わたしの日常 vol.5

たけいし りょうた
竹石 亮太

スタッフの休日や趣味のことなど、徒然なるままに。パーソナルな部分をちょこっとご紹介します。あの人の意外な一面が垣間見られるかも?! 第5回目は、営業課の竹石です。

営業課の竹石と申します。普段、会社ではあまり子どものことを話さないのですが、この場を借りて言っちゃいます。息子が、大変可愛いのです。先日、「どんなところが可愛い?」と聞かれたのですが、「どこか言えないです、全部が可愛いです!」と即答してしまいました。

平日は息子に会えない分、休日は一緒に遊んだり、慣れないながらも離乳食を食べさせたり、一緒にお風呂に入ったりとコミュニケーションをとっています。先日はハーフバースデーだったので、初めて家族で『マリニピア日本海』に行ってきました。息子は生き物というより、水槽を照らす光が気に入り、照明はかり見ていましたが、とても楽しい時間でした。

息子の話を除くと、私はアーティストの「サカナクション」が大好きです！コロナ禍前はライブツアーに参加し、様々な県へ遠征していました。曲ももちろん素晴らしいのですが、ライブの演出や音響へのこだわりなども今回の文章の中では伝え切れないほど素晴らしいです!! 休日はライブDVDを観たり、車の移動中に音楽を聞きながら楽しんでいます。息子が大きくなったら、サカナクションと一緒に楽しんでくれる日が来ることを今から楽しみにしています!



▲家族でマリニピア日本海へ



▲サカナクションの大ファンです

編集後記

新年明けましておめでとうございます。すまいるNEWS新春号をお読みいただき、ありがとうございました。新すまいるNEWSを発行してから、早いもので4年目を迎えました。記事を読んでいただいたオーナー様からご感想やご連絡をいただくことも増えてきて、感謝の気持ちでいっぱいです。2022年も皆さまに楽しんでいただけるような情報を発信してまいります。本年度も何卒よろしく願いいたします。

佐藤 愛